

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	47,500 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	86.3 %)	
② 新岩手農業協同組合			(出資等割合	9.0 %)	
③ 岩手中央酪農業協同組合			(出資等割合	3.6 %)	
④ 盛岡商工会議所			(出資等割合	0.9 %)	
⑤			(出資等割合	%)	
令和元年度における当市の財的関与の状況	補助金	0 千円	(収入全体の	%)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	13,326 千円	(収入全体の	9.7 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
①		(令和元年度予算額	千円)		
②		(令和元年度予算額	千円)		
③		(令和元年度予算額	千円)		
負担金・交付金内訳					
①		(令和元年度予算額	千円)		
②		(令和元年度予算額	千円)		
委託料内訳					
①		(令和元年度予算額	千円)		
②		(令和元年度予算額	千円)		
指定管理料内訳					
① 盛岡市総合交流ターミナル指定管理料		(令和元年度予算額	13,326 千円)		
②		(令和元年度予算額	千円)		
③		(令和元年度予算額	千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合交流ターミナル(ユートランド姫神)			
		利用料金収入(令和元年度予算額)	123,523 千円		
		法人の収入全体の	90.3 %		

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合交流ターミナル(ユートランド姫神)
-------	------------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 売上目標	年	計画	121,000	117,120	122,300
		実績	117,246	75,844	123,120
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
収支の状況	売上高(A)	117,246	75,844	123,120
	売上総利益	95,356	62,197	100,134
	販売費・一般管理費(B)	106,160	95,117	121,768
	営業利益	▲ 10,803	▲ 32,920	▲ 21,634
	経常利益(C)	▲ 10,082	▲ 3,157	▲ 3,798
	税引前当期純利益	▲ 10,122	▲ 3,157	▲ 3,798
	当期純利益	▲ 10,307	▲ 3,342	▲ 3,983
財産の状況	資産(D)	11,478	5,858	8,388
	うち流動資産(E)	10,614	5,157	7,820
	うち固定資産	864	701	568
	負債	12,715	10,437	16,950
	うち流動負債(F)	12,715	10,437	16,950
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債			
	うち長期借入金(I)			
	うち有利子負債(J)			
	純資産	▲ 1,236	▲ 4,578	▲ 8,562
うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000	
うち剰余金(L)	▲ 56,236	▲ 59,578	▲ 63,562	

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度
組織の状況	常勤役員数(M)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(N)	29	29	29
	うち常勤職員数	28	28	28
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員			
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(M/総役員数)			
	管理職員比率	3.4	3.4	3.4
職員新規採用数	0			
うち常勤職員数				
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	▲ 8.6	▲ 4.1	▲ 3.0
	販売費・一般管理費比率(B/A)	90.5	125.4	98.9
	流動比率(E/F)	83.4	49.4	46.1
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	0.0
	自己資本比率((K+L)/D)	▲ 10.7	▲ 78.1	▲ 102.0
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	4,042	2,615	4,245
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	① 20周年記念事業			1,000
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料		31,087	17,966
	① 燃料費変動に伴う指定管理料			273
② 運営費に係る指定管理料		31,087	17,693	
③				
貸付金額				
損失補償額				
債務保証額				
平成30年度決算の概要				
<p>売上はリニューアル効果もあり各部門4月より堅調に推移した。10月に貯湯槽故障が発生し大幅に売上を落としたものの計画を達成し123,120千円となった。経費は人件費・重油単価高騰で燃料費・電気使用量増で水道光熱費・リニューアル備品購入で備品消耗品費が増額となった。売上及び営業外収益140,956千円、売上原価及び販管費144,754千円となり、経常損失3,798千円、特別損失等を差し引き、当期純損失は、3,983千円となった。</p>				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

D	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
<p>(コメント)当該出資法人は、赤字決算が常態化しており、現在は純資産がマイナスとなっている。赤字決算が常態化している要因としては、4つの部門を1つの施設で扱う性質から、収益性に元々課題を抱えており、係る損失を経営努力で賄いきれなかったことが挙げられる。黒字化を達成する為には、部門毎の収益性について再評価を実施し、縮小も含めた事業整理が必要と思われる。</p>	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成29年度決算において黒字である。		○
2	平成30年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。	○	
4	平成30年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		○
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		○
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		○
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	○	